



平成 20 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 仙 台 銀 行  
 代 表 者 名 取締役頭取 三 井 精 一  
 問 合 せ 先 常務取締役企画部長  
 御園生 勇 郎  
 (TEL 022-225-8241)

平成 21 年 3 月期（個別・連結）業績予想及び配当予想の修正  
 並びに有価証券評価損に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 22 日に公表しました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

また、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落した有価証券について、平成 21 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 個別業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

単位：百万円

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	9,200	900	450
今回修正予想 (B)	9,300	300	100
増減額 (B-A)	100	△600	△350
増減率 (%)	1.0%	△66.6%	△77.7%
前期実績（平成 19 年 9 月期）	10,235	1,040	406

(2) 平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

単位：百万円

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	18,500	1,800	900
今回修正予想 (B)	18,500	1,000	500
増減額 (B-A)	—	△800	△400
増減率 (%)	—	△44.4%	△44.4%
前期実績（平成 20 年 3 月期）	20,107	△1,236	△2,023

## 2. 連結業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

単位：百万円

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	9,250	950	500
今回修正予想 (B)	9,400	400	100
増減額 (B-A)	150	△550	△400
増減率 (%)	1.6%	△57.8%	△80.0%
前期実績（平成 19 年 9 月期）	10,314	1,116	443

(2) 平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

単位：百万円

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	18,600	1,850	950
今回修正予想 (B)	18,600	1,100	500
増減額 (B-A)	—	△750	△450
増減率 (%)	—	△40.5%	△47.3%
前期実績（平成 20 年 3 月期）	20,253	△1,146	△2,024

## 3. 有価証券評価損（減損処理）

(A) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期末の有価証券評価損の総額		729 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額	(A) / (B) × 100	18,303 百万円 (3.9%)
(C) 最近 5 事業年度末の経常利益の平均	(A) / (C) × 100	1,368 百万円 (53.2%)
(D) 最近 5 事業年度末の当期純利益の平均	(A) / (D) × 100	893 百万円 (81.6%)

## 4. 業績予想の修正理由

(1) 個別業績予想

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間において、中期経営計画（平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月）の主要計数目標である貸出金残高は、積極的な訪問・提案活動などにより、同期間の目標を上回る結果となりました。

しかしながら、米国金融危機に伴う世界的な金融市場の混乱を受け、保有有価証券の一部について、上記 3 「有価証券評価損」のとおり 729 百万円の減損処理（損失計上）を実施することなどから、経常利益及び中間純利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

当行は、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、簿価に比べて時価が著しく下落した有価証券について減損処理（損失計上）を実施しております。今回の減損処理 729 百万円のうち、債券に係るものは 402 百万円、株式等に係るものは 327 百万円であります。

なお、この業績予想修正に伴い、平成 21 年 3 月期通期についても当初予想を下回る見込みです。

(2) 連結業績予想

個別業績予想の修正に伴うものであります。

5. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1 株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
前回予想 (平成 20 年 5 月 22 日発表)	25 円 00 銭	25 円 00 銭	50 円 00 銭
今回修正予想	0 円 00 銭	未 定	未 定
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	25 円 00 銭	25 円 00 銭	50 円 00 銭

(2) 配当予想の修正理由

当行は、預金、貸出、為替等の本来業務による利益は一定の水準を確保しております。

しかしながら、米国金融危機に伴う世界的な金融市場の混乱を受け、平成 21 年 3 月期第 2 四半期末において、「その他有価証券」の減損処理までには至らない含み損が△5,281 百万円（平成 20 年 3 月期末実績は△2,449 百万円）まで急速に拡大いたしました。加えて、金融市場の混乱が当面続くことも懸念されますことから、株主の皆さまには誠に申し訳なく存じますが、中間配当の実施を見送らせていただくことといたしました。

なお、年間配当につきましては、現時点では未定であり、金融市場の動向及び平成 21 年 3 月期通期決算などを踏まえ、定時株主総会までに検討させていただく予定でございます。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により変動する可能性があります。

本件に関する問合せ先：企画部企画課 尾形（電話 022-225-8258）

以 上